

一般社団法人日本ロボット学会実用化技術賞申請書

番号（記入不要）

（ 年 月 日 提出）

対象技術分野	1. 製造業分野, 2. 非製造業分野, 3. 実用化開発分野 …○で囲んで下さい。				
技術名称					
代表者を筆頭に記入	会員資格	会員番号	氏名（ふりがな付き）	年齢	機関・所属・職名（詳細に記入のこと）
	連絡担当者氏名：		TEL	FAX	
	所属・部課名：		E-mail		
	住所：〒				
技術の概要	(600字程度)				
空白でも可 推薦者	会員資格	氏名	所属・職名	連絡先 (TEL FAX)	

**添付書類**：申請書の他に次の書類（任意形式）を添付してください。

- 技術説明書：技術の内容の説明の際、技術の独創性・新規性（当該技術によりロボット応用が拡大する効果）、品質または性能の優秀さ・進歩性（類似技術との比較）、波及効果（次のロボット技術・他技術・知的基盤への貢献、開拓される産業・市場の発展性）を明記し、技術のセールスポイントとなる点（本賞の選考において、特に応募者が評価してほしいポイント）が明確になるよう詳細かつ具体的に記述して下さい。
- 実用化の状況：現場への適用度、製品の経済効果・市場の評価、社会への実際的な貢献について、販売実績、稼働実績、産業界・社会へのインパクトの観点から明確に記述して下さい。
- 技術開発環境の説明：技術提携、技術協力などの有無、開発資金の援助の有無、それぞれある場合はその相手、内容も記述して下さい。特に共同研究の場合は、関連者の研究との関係（申請技術の背景の説明）を詳細に記述して下さい。
- 役割分担：各候補者の応募技術実現における役割分担を説明して下さい。
- 特許・実用新案出願・取得状況：リストを作成して下さい。リストには、名称、番号（出願番号、公開番号、登録番号）、日付、出願国を記し、出願、公開、取得の区別を明確にして下さい。さらに取得および公開されたものに関しては、コピーを添付し、どの特許のどの請求項が重要であるかを説明して下さい。
- 技術に関する公開された文献：論文、技術報告、技術資料などで技術内容および候補者の貢献度がわかるもの。特に、応募技術が日本ロボット学会誌や学術講演会等で発表されている場合は、その論文や予稿集原稿の別刷りを提出して下さい（発表年、巻号等を明記）。文献の有無で選考委員の技術への理解度が大きく変わることがありますので可能な限り提出して下さい。
- 申請が2年目の場合は、前年度からの補強点あるいは改善点も記述して下さい。
- 開発技術の内容、実用化状況を示すビデオ：ビデオの有無で選考委員の技術への理解度が大きく変わることがありますので可能な限り提出して下さい。

**提出部数**：(1)～(7)を正1部(A4用紙)、(1)～(8)をCD-ROMに収めたものを副として1部(ただし、(8)の動画ファイルを含め30MB以内とする)